

各位

会社名 ヒビノ株式会社
代表者名 代表取締役社長 日比野 晃久
(コード番号 2469 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 執行役員ヒビノGMC経営企画グループ
グループ長 大関 靖
(TEL : 03-3740-4391)

第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、2022年11月7日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 処分要領

(1) 処分期日	2022年12月1日
(2) 処分株式数	当社普通株式 35,000株
(3) 処分価額	1株につき1,385円
(4) 調達資金の額	48,475,000円
(5) 処分方法 (処分予定先)	第三者割当の方法による (大沼 慶祐)
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。

2. 処分の目的及び理由

当社は、2022年11月7日開催の取締役会において、株式会社 Cerevo の株式を取得し子会社化することを決議しております。本自己株式処分の引受予定先である大沼慶祐氏は、株式会社 Cerevo の代表取締役社長であります。当社は、2022年11月7日開催の取締役会において、今後も株式会社 Cerevo の代表取締役社長として事業をけん引する同氏が当社の株主となることで、当社グループへの経営参画意識を高め、当社グループのさらなる業績拡大に貢献することを期待して、同氏を引受先として第三者割当による自己株式処分を行うことを決議いたしました。

当社は、株主還元の強化及び資本効率の向上を図るとともに、経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため、現在、377,687株の自己株式を保有しており、このうち35,000株を本自己株式処分において割当てることといたしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	48,475,000円
② 発行諸費用の概算額	700,000円
③ 差引手取概算額	47,775,000円

(2) 調達する資金の具体的な用途

全額運転資金として、2022年12月から2023年1月までの間に支出する予定です。調達資金を実際に支出するまでの資金管理は、当社預金口座にて行います。

4. 資金用途の合理性に関する考え方

当社の業務運営に資するものであり、また財務体質のさらなる健全化につながるため、合理性があるものと考えております。

5. 処分条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額については、恣意性を排除した価額とするため、本自己株式処分の取締役会決議日の前営業日である2022年11月4日の株式会社東京証券取引所スタンダード市場における当社株式の終値である1,385円といたしました。本取締役会決議日の前営業日の終値を基準としたのは、本自己株式処分に係る取締役会決議日直前のマーケット・プライスであり、算定根拠として客観性が高く、合理的であると判断したためです。

上記処分価額は、本取締役会決議日の前営業日までの1ヵ月間(2022年10月5日～2022年11月4日)における終値の平均値1,408円(1円未満は切捨て。終値の平均値につき以下同様)に対し1.63%(小数点以下第3位を四捨五入。プレミアム及びディスカウントの計算において以下同様)のディスカウント、同3ヵ月間(2022年8月5日～2022年11月4日)における終値の平均値1,421円に対し2.53%のディスカウント、同6ヵ月間(2022年5月6日～2022年11月4日)における終値の平均値1,434円に対し3.42%のディスカウントとなっております。当該処分価額については、当社株式が上場されており、取締役会決議の前営業日の当社株式の市場価額を基礎としていること及び日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠する範囲のものであることから、特に有利な処分価額に該当しないものと判断しております。

なお、当該処分価額については、当社監査役全員(3名、うち2名は社外監査役)より、現在の株式市場の状況、当社株価の推移状況、並びに相場変動の可能性を考慮した結果、特に有利な金額に該当しない旨の意見を得ております。

(2) 処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

処分数量35,000株につきましては、その希薄化の規模は発行済株式総数に対して0.34%(小数点以下第3位を四捨五入、2022年9月30日現在の総議決権個数98,834個に対する割合0.35%)と小規模なものです。また、本自己株式処分により割当された当社株式は、上記のとおり当社子会社の代表取締役社長となる予定の者に交付が行われるものであり、本自己株式処分による株式がいちどきに市場に流出することは想定されていないことから、流通市場への影響は軽微であり、処分数量及び希薄化の規模は合理的であると判断しております。

6. 処分予定先の選定理由等

(1) 処分予定先の概要

① 氏名	大沼 慶祐
② 住所	東京都目黒区
③ 職業の内容	株式会社 Cerevo 代表取締役社長
③ 上場会社と当該個人との関係	該当事項はありません。

(2) 処分予定先を選定した理由

上記「2. 処分の目的及び理由」をご参照ください。

なお、当社は、本自己株式処分の引受予定先である大沼慶祐氏より、反社会的勢力又はその関係者と一切関係がないことについての誓約を得るとともに、過去の新聞記事における記事検索及びインターネット検索により確認を行っております。また、第三者調査機関である株式会社トクチョーに調査を依頼し、調査報告書を受領いたしました。これらにより、当社は大沼慶祐氏が反社会的勢力とは一切の関係がないと判断し、その旨の確認書を2022年11月4日に株式会社東京証券取引所に提出しております。

(3) 処分予定先の保有方針

当社は、大沼慶祐氏より、本自己株式処分により取得した当社普通株式を長期的に継続保有する方針であることを口頭で確認しております。

なお、当社は、大沼慶祐氏が払込期日から2年以内に、本自己株式処分により取得した当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、大沼慶祐氏からその内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 処分予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、大沼慶祐氏が本自己株式処分の引受の払込みに要する十分な現金を保有していることを確認していることから、かかる払込みに支障はないと判断しております。

7. 処分後の大株主及び持株比率

処分前 (2022年9月30日現在)		処分後	
有限会社ハイビーノ	32.04%	有限会社ハイビーノ	31.93%
日比野 晃久	10.60%	日比野 晃久	10.56%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5.47%	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5.45%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4.81%	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4.80%
ヒビノ従業員持株会	4.43%	ヒビノ従業員持株会	4.41%
日比野 宏明	2.74%	日比野 宏明	2.73%
日比野 純子	2.37%	日比野 純子	2.36%
日本生命保険相互会社	2.11%	日本生命保険相互会社	2.10%
株式会社みずほ銀行	2.02%	株式会社みずほ銀行	2.02%
株式会社三菱UFJ銀行	2.02%	株式会社三菱UFJ銀行	2.02%

- (注) 1. 処分後の大株主及び持株比率については、2022年9月30日現在の株主名簿を基準として、本自己株式処分による増減株式を考慮したものであります。持株比率は、自己株式を除いた発行済株式総数に対する所有株式数の割合を、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。
2. 当社は本自己株式処分前に自己株式377,687株を保有しております。

8. 今後の見通し

本自己株式処分が2023年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
連結売上高	40,825百万円	30,523百万円	42,426百万円
連結営業利益	1,267百万円	△4,073百万円	1,339百万円
連結経常利益	1,428百万円	△2,636百万円	1,921百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	694百万円	△2,423百万円	1,074百万円
1株当たり連結当期純利益	69.78円	△244.76円	108.66円
1株当たり配当金	35.00円	10.00円	30.00円
1株当たり連結純資産	1,020.35円	764.75円	870.63円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（2022年11月7日現在）

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	10,265,480株	100.0%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－%
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－%
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－%

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
始値	2,681円	1,270円	1,619円
高値	2,907円	1,770円	1,850円
安値	956円	976円	1,252円
終値	1,240円	1,623円	1,556円

② 最近6ヵ月間の状況

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
始値	1,556円	1,434円	1,443円	1,449円	1,434円	1,405円
高値	1,596円	1,450円	1,456円	1,460円	1,448円	1,447円
安値	1,393円	1,390円	1,426円	1,400円	1,400円	1,380円
終値	1,434円	1,435円	1,440円	1,434円	1,402円	1,389円

③ 発行決議日前営業日における株価

	2022年11月4日
始値	1,396円
高値	1,398円
安値	1,383円
終値	1,385円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

以 上